



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

ささりんどう

〔学校教育目標〕 ～感動し、共に喜びあえる児童の育成～

鴻巣市立箕田小学校 学校だより
令和5年12月1日

児童数
男子 156名
女子 139名
合計 295名



みんなのために、だれかのために

校長 清水 良江

朝の寒さが身にしみる12月。風が吹く中、落ち葉はきも佳境に入り、本格的な冬の訪れを感じさせます。11月のメインイベントである持久走大会と校内音楽会も無事に終わり、今学期も残すところあと1か月となりました。2学期最後の月を子どもたち全員が元気に過ごせますよう、学校でも換気を中心に十分気を付けてまいります。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ご飯」とともに「うがい・手洗い」を励行し、元気に過ごしてほしいと思います。

さて、かつて日本人初・女性初として国連難民高等弁務官に就任した緒方貞子さんの名前は誰しもが一度は耳にしたことがあるかと思います。ちょうど今から4年前の2019年に92歳の生涯を閉じました。彼女の残した業績は本当に素晴らしいものがあります。国連難民高等弁務官時代は、戦争によって難民となったたくさんの人々への人道支援を自ら現地に赴き行いました。「一人一人の尊厳を大事にし、差別をすることなく生きる権利を保障する」といった強い姿勢をもち、大きな決断を次々行ってきた人です。緒方さんは、「自分の国だけの平和はあり得ない」という考えのもと、世界中の貧しい人や難民に対して深い思いやりの心を示し、無関心を断じて許しませんでした。そして、自由と平等はもとより、国にも国際機関にも、そして個人にも人の尊厳のために行動する責務がある、といったゆるぎない信念をもって長く活動を続けてきました。そんな緒方さんの功績を知れば知るほど、平和な中に生きている自分達も、周囲で起こっている物事に対してもっと自分事として考えていかなければならないと反省させられます。またそれと同時に、学校としても国際協力にもっと目を向け、興味をもってこれからの時代を担っていく子ども達を育成することの責任を感じます。緒方さんは「異なる意見をぶつけ合って、自分の意見を鍛え上げ、学び合うこと」「多様性をはぐくむ教育を積み重ねていくこと」の大切さを訴えていました。「危機・難局は乗り越えるためにある。だからこそ乗り越える方法を考える。」教育に携わる私達への力強い教示ともいえます。

箕田小では、日常的に子どもたちによるボランティア活動が行われています。ボランティア隊（あいさつ・くさとり・おそうじ・枯山水）をはじめアルミ缶回収、服のカプロジェクト、落ち葉はき、各種募金活動です。また、今年度は縁あって韓国やオーストラリアの子ども達とのオンラインでの交流や伝統体験等も行ってきました。ボランティア活動を通じて全校児童みんながよりよく生活するために必要なことは何かを考えたり、日本以外の国と交流して理解を深めることで世界の人々がみな平等で平和に暮らせるために自分たちができることは何かを考えたりするきっかけとなりました。こうした様々な経験をもとに、今よりもっと世界に目を向け、「みんなのために、だれかのために」活動できる子どもが箕田小から少しでも多く育ってくれたらと思っています。

～「虐待」は子どもの心を一生傷つけます～

12/4～10は人権強化週間（11月：児童虐待防止推進月間）です

全てのこどもは、「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。こどもの健やかな成長に影響を及ぼす「児童虐待の防止」は社会全体で取り組むべき重要な課題です。

- ① **身体的虐待**：殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束する等
- ② **性的虐待**：こどもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にする等
- ③ **ネグレクト**：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない等
- ④ **心理的虐待**：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、こどもの目の前で家族に対して暴力をふるう（ドメスティックバイオレンス：DV）きょうだいに虐待行為を行う等

親から大切にされる経験をもたずに育つと、他の人を信頼することができず、人間関係が築けなくなり、他人に攻撃的になります。子どもは虐待の苦痛を軽減しようとして、感情や記憶を分裂させる解離（多重人格）を起こすこともあります。自分が悪いから虐待されていると考えて自尊心が低くなり、自暴自棄な行動をとります。このような情緒的に不安定な状態のまま思春期になると、非行や犯罪など反社会的な行動につながっていきます。また、親が学校に行かせないことで学校の勉強についていけなくなったり、度重なる暴力により、学習するための集中力や意欲に欠け、学力が低下したりすることがあります。

子育ての悩みは、一人で抱え込まず、学校をはじめ、鴻巣市教育支援センターや市役所子育て支援課などにぜひご相談ください。

箕田っ子ボランティア隊 がんばっています！

本校の特色の1つである「箕田小ボランティア隊」を紹介します。

「箕田っ子ボランティア隊」は、平成27年度からスタートし、「おそうじ隊」「あいさつ隊」「枯山水隊」「草とり隊」の4つから構成されています。3年生以上の児童が有志で隊員となり、それぞれの隊のバッチをつけて活動しています。

現在、約140名の隊員たちが、自分たちの力でよりよい箕田小学校をつくってほしいと、がんばって活動してくれています。

箕田小学校では、特色あるこの活動を通して、人のため、学校や地域のために進んで役に立とうとする児童を育成しています。

保護者や地域の皆様、ぜひ箕田っ子ボランティア隊の活躍を知っていただくとともに、応援や励ましの声かけをいただければ幸いです。



昇降口前・駐車場・校庭の清掃活動をして、きれいな学校づくりをめざしています。



学校の内外で、元気なあいさつを実践し、他の児童のお手本役として頑張ります。



東校舎の箕田小枯山水を毎日整備し、通り掛かる人に、日本の美意識「わび・さび」を提供します。



美しい箕田小になるよう、校庭や花壇の草とりに進んで取り組みます。

感染症予防の強い味方！ CO₂ モニター全教室配備

学校保健特別対策事業費補助金（感染症流行下における学校教育活動体制整備事業）により、**CO₂ モニター**を全教室に配備しました。

CO₂ モニターは、室内の二酸化炭素の濃度を計測し、換気が必要なタイミングを色の変化で教えてくれる装置です。これにより、今まで以上に換気を効果的に行うことができるようになりました。

また、この他にも、校舎内の網戸の増設や、体育館のジェットヒーターの購入に本補助金を活用させていただきました。

これらを活用し、箕田小学校ではより一層の感染症予防に努めてまいります。



お知らせ

学校評価アンケートにご協力をお願いします

学校評価アンケートについてのお知らせを11月30日に配付しました。今年度も保護者アンケートは**連絡メールアプリ「eメッセージ」のアンケート機能を利用して実施**いたします。連絡メールにアンケートが届きましたら、**お子様ごとに回答**をお願いいたします。保護者の皆様からの貴重な意見を参考にさせていただきながら、今後の教育活動や指導の改善案を校内で検討し、来年度の計画に反映させていただきます。学校評価の詳しい結果については、3月にお知らせいたします。

緊急時の児童の引き取りについての連絡フォーム

11月11日（土）の引き渡し訓練では、大変お世話になりました。

鴻巣市内小・中学校では、震度5弱以上の地震が発生した際には、児童の引き渡しを実施することになっております。保護者の方が**地震発生から1時間以内**に**どうしてもお子様を引き取りに来ることができない場合の連絡ツール**として、箕田小学校のホームページ内に、「緊急時の児童の引き取りについての連絡フォーム」を開設しました。緊急時、必要事項をこのフォームに入力していただくことで、引き取りに来られる方の名前、おおよその到着時刻、伝言等を学校に連絡することができます。万が一の場合に備え、本フォームについてご承知おきください。

（右のQRコードからもアクセスできます。）

